

# ワーク ショップ 発表

「性的少数者」や「国際支援」、「地震災害」などの様々なテーマについて、各グループが寸劇やクイズを入れるなど工夫を凝らした発表を行いました。



6:00  
起床

7:00  
朝のつどい



9:00  
ワーク  
ショップ  
まとめ  
発表

日本赤十字社香川県支部  
山田事務局長より修了証が  
手渡されました。



13:00  
閉会



令和2年度は8月1日(土)～3日(月)に開催予定です



# いとすぎかがわ

香川県青少年赤十字賛助奉仕団  
日本赤十字社香川県支部  
高松市番町一丁目10番35号 香川県社会福祉総合センター  
087-861-4618



## 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターに参加して

香川県青少年赤十字賛助奉仕団 委員長 漆原 勝弘

今年も、青少年赤十字賛助奉仕団より5名が参加。リレー形式で全日程(2人は宿泊も共に)参加。おかげで、子どもたちとはもちろんのこと、協議会の先生方、支部の方々とも、今までにない交流の和が深まりました。そんな中で、毎年思うことは、トレセンの活動内容が実に豊富で充実していることです。赤十字の基礎知識、防災、献血、救急法・AEDなどの学習や体験、ホームルーム、ボランティアサービス、ワークショップ、フィールドワークなどの活動等、ほんとうに内容の濃い日程になっています。もちろん、それには、支部の方々毎年本社のトレセンなどを参考に、日程や内容を収集・熟慮されているからなのです。それから、指導の先生方や子どもたちが「気づき」「考え」「実行する」の態度目標を常に意識しながら、真剣に活動していました。また、小・中・高の縦割りグループにすばやく順応し、一人ひとりが自信をもって行動していました。それらの活動の中で、きらりと輝くまなざしと、時々にごっとする笑顔が印象的でした。

子どもたちからは、「人前で積極的に話すことが苦手だったが、集団生活を通して解消された」、「『気づき』『考え』『実行する』をこれからの生活にも生かしていきたい」、「後輩に引き継いでいきたい」、「たった3日間だったけど、すごく心に残る3日間だった」などの感想の声が聞こえてきました。本当に充実した3日間だったと私も思うし、このトレセンを計画・運営なされたスタッフの皆さんに感謝の念で一杯です。また、「行き詰ったときに、先生がヒントをくれたのが助かった」という声を耳にしたとき、指導者の先生方が、指導は極力控えながらも、ここぞという時に適切な助言をすることで、子どもたちの心に響いていることに感心するとともに、活動の場の雰囲気をよく把握しての指導力の高さに思わず拍手です。今後とも、このトレセンの効果を多くの学校にご理解いただき、指導者の先生や、希望する子どもたちへのさらなる配慮を心よりお願いしたい気持ちでいっぱいです。



# 今年も来た! 夏のトレセン!

令和元年8月3日(土)～5日(月)、五色台少年自然センターにて青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター(以下、トレセン)を開催しました。ここでいうリーダーシップとは目的や成果のために様々な場面でそれぞれが考え動く力であり、みんなが持つべき「気づき」「考え」「実行する」力のこと。トレセンでは、「自ら進んで行動し、学校や地域社会でリーダーになれる」子どもたちを育てます。今年、香川県内の小学生、中学生、高校生60人が参加しました。





# ホーム ルーム

学校や学年の枠を超えた縦割りグループで構成。はじめこそ不安と緊張の面持ちでしたが、グループ活動を通して絆が深まり、積極的な発言が増え、一人ひとりがリーダーシップのとり方を身につけまし



# 防災教育 プログラム

災害の知識のほか、災害時のコミュニケーション能力の大切さに「気づき」「考え」「実行する」グループワークに取り組みました。



# 健康安全 プログラム

万一の際に適切な行動がとれるように、心肺蘇生と AED の使い方、毛布担架を使用して傷病者を搬送する方法を学びました。



# 掲示板

トレセンでは号令をかけません。そのため「本部から参加者へ」、「参加者から参加者へ」のような形で、連絡、呼びかけ、案内などの周知事項を掲示板で行います。



# 先見

子どもたちが自己の行動管理、危険予知など、先を見越した行動を主体的にとれるようになるため、トレセンの中に「先見の時間」を設定しています。



# ワーク シヨップ

学校や普段の生活の中で問題になっていることや、トレセンの学習を通して実践してみたい活動をグループごとに考えました。



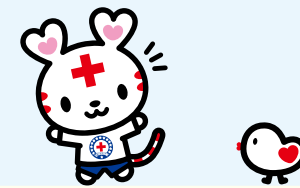
# ボランティア サービス

集団生活の中で、参加者全員がよりよく過ごせるように自分から進んで行動すること。自主性・自発性ある態度を育成します。



# フィールド ワーク

野外に設けられた複数の関所を周り、初日に学習した知識や技術をフル活用して、出された課題に対してグループの仲間と力を合わせてゴールを目指しました。



C ホームルーム



D ホームルーム



E ホームルーム



10:30  
開会

12:45  
ホームルーム

13:45  
学習 I  
防災教育  
プログラム  
赤十字  
について

15:00  
ボランティア  
サービス

16:00  
夕べのつどい

16:30  
ボランティア  
サービス

18:00  
ホームルーム

18:45  
学習 II  
健康安全  
プログラム

20:30  
ホームルーム  
連絡会議

22:00  
就寝

6:00  
起床

7:00  
朝のつどい

9:00  
先見

9:30  
ワーク  
シヨップ

13:00  
ボランティア  
サービス

14:00  
フィールド  
ワーク

16:30  
夕べのつどい

18:00  
ホームルーム

19:30  
ホームルーム  
連絡会議

20:00  
フィールド  
ワーク講評

22:00  
就寝